

かつやま 議会だより

4月臨時会・6月定例会報告

2026.7.23

No.100

.....100号を迎えました.....



議長のメッセージ

議会だよりは、議会の活動や市政の課題を市民の皆様と共有する大切な架け橋です。

これまでの積み重ねに感謝し、これからも皆様の声を市政に届けるべく、開かれた議会づくりに取り組んでまいります。

今後とも「かつやま議会だより」をよろしくお願いいたします。

勝山市議会議長 近藤 栄紀

市長のメッセージ

「かつやま議会だより」は、創刊以来、市政と議会の動きを市民の皆様にお伝えし、開かれたまちづくりの一翼を担ってこられました。

100号の節目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

これからも市議会の皆様と力を合わせ、市民の皆様へ寄り添い、よりよい勝山市を目指してまいります。

勝山市長 水上 実喜夫

目次

政務活動費交付金
収支状況 P 2

審議結果・委員会報告
..... P 3

一般質問
..... P 5

永年勤続表彰

長年の市政振興への尽力に対する功績により、山田安信議員（議員在職30年以上）、近藤栄紀議員、下牧一郎議員（ともに議員在職10年以上）が全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰されました。



山田 安 信 議員



近 藤 栄 紀 議員



下 牧 一 郎 議員

令和7年度 政務活動費交付金収支状況

		市 政 会	新風会・公明 ※	日本共産党	松山 信裕 ※	下牧 一郎	富士根 信子	公明党 ※
		5 名	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
収入	政 務 活 動 費	1,800,000円	720,000円	360,000円	60,000円	360,000円	360,000円	60,000円
	預 金 利 息	165円	175円	237円	0円	0円	397円	199円
	合 計	1,800,165円	720,175円	360,237円	60,000円	360,000円	360,397円	60,199円
支出	調 査 研 究 費	0円	0円	30,206円	0円	0円	1,720円	0円
	研 修 費	1,142,199円	102,760円	0円	0円	0円	0円	0円
	広 報 費	0円	0円	135,755円	0円	95,898円	0円	0円
	資 料 作 成 費	205,754円	53,652円	80,420円	3,246円	41,009円	33,723円	2,868円
	資 料 購 入 費	293,800円	214,620円	114,108円	25,960円	90,600円	22,880円	7,600円
	合 計	1,641,753円	371,032円	360,489円	29,206円	227,507円	58,323円	10,468円
政務活動費充当上限額		1,641,753円	371,032円	360,000円	29,206円	227,507円	58,323円	10,468円
残 額（返還額）		158,247円	348,968円	0円	30,794円	132,493円	301,677円	49,532円
預 金 利 息 返 還 額		165円	175円	237円	0円	0円	397円	199円

		森 かよ子	浦上 雄次	吉田 将克	李 江嵐
		1 名	1 名	1 名	1 名
収入	政 務 活 動 費	360,000円	360,000円	360,000円	330,000円
	預 金 利 息	389円	96円	0円	254円
	合 計	360,389円	360,096円	360,000円	330,254円
支出	調 査 研 究 費	0円	0円	0円	0円
	研 修 費	0円	0円	0円	0円
	広 報 費	154,132円	348,691円	248,088円	0円
	資 料 作 成 費	17,204円	0円	17,204円	15,771円
	資 料 購 入 費	11,880円	11,880円	33,000円	0円
	合 計	183,216円	360,571円	298,292円	15,771円
政務活動費充当上限額		183,216円	360,000円	298,292円	15,771円
残 額（返還額）		176,784円	0円	61,708円	314,229円
預 金 利 息 返 還 額		389円	96円	0円	254円

◆支出額が政務活動費の収入額又は政務活動費充当上限額を上回る場合は、残額（返還額）を0円と表記しています。
 ◆政務活動費取扱預金利息が0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。
 ◆政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。
 ◆広聴費、要請・陳情活動費・会議費・人件費・事務所費については全ての会派において支出がないため表記していません。
 ※新風会・公明は令和8年1月に会派を解散したため、令和8年2月・3月分を返還しています。松山議員と公明党（安岡議員）には令和8年2月1日付けで会派に所属しない議員として同期間分を交付しています。

4月臨時会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議 案 第 1 号	勝山市立中学校スクールバス1号車の購入について	新中学校建設	可 決
議 案 第 2 号	勝山市立中学校スクールバス2号車の購入について	新中学校建設	可 決
議 案 第 3 号	令和7年度勝山市一般会計補正予算（第9号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議 案 第 4 号	市税条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 5 号	地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議 案 第 6 号	令和8年度 勝山市一般会計補正予算（第2号）	予 算	可 決
議 案 第 7 号	勝山市行政手続条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 8 号	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 9 号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可 決
議 案 第 10 号	ロータリー除雪車の購入について	建 設 産 業	可 決
議 案 第 11 号	損害賠償の額を定めることについて	建 設 産 業	可 決
★議案第12号	勝山市議会ハラスメント防止条例の制定について	議 会 運 営	継 続 審 査
議 案 第 13 号	勝山市教育委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 14 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 4 号	スクールバス停留所に関する陳情書（継続審査事件）	新中学校建設	不 採 択
陳 情 第 5 号	「友楽喜」廃止・活動移動について、市民の同意と、議会制に基づく丁寧な手続きを求める陳情書（継続審査事件）	総務文教厚生	不 採 択
陳 情 第 6 号	勝山市議会への陳情書（友楽喜の存続について）（継続審査事件）	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 名	総 投 票 数	投票数		石 垣 智 史	李 江 嵐	吉 田 将 克	浦 上 雄 次	森 か よ 子	安 岡 孝 一	冨 士 根 信 子	下 牧 一 郎	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	松 山 信 裕	帰 山 寿 憲	山 田 安 信	近 藤 栄 紀
		賛 成 票	反 対 票														
陳 情 第 4 号	12	6	6	×	○	○	○	○	×	○	不	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 5 号	12	5	7	×	○	×	○	○	×	○	不	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 6 号	12	5	7	×	○	×	○	○	×	○	不	×	×	×	×	○	議長

※陳情第4号は、賛否同数により議長採決で不採択となりました。

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、除＝除斥、議長＝議長職（通常は採決に加わらない）

常任委員会・特別委員会報告

● 議会運営委員会

◆ 勝山市議会ハラスメント防止条例の制定について

6月16日開催の本会議にて、議員2名より勝山市議会ハラスメント防止条例の制定について議案の提出がありました。

提案理由として、「社会全体でハラスメントに対する意識が高まり、ハラスメント防止のための法律等が整備されてきたが、我々市議会議

員に対しては明確な規範が十分に存在しているとは言えない。ハラスメントは、個人の尊厳を傷つけるだけでなく、円滑な議会運営を阻害し、ひいては市民の皆様へのサービス低下を招く恐れがある。」との説明がありました。

議会運営委員会で本議案を審査する中で、多数の委員から相談窓口や調査審査会についてさらに議論を深めるべきとの意見があり、閉会中の継続審査とすることに決しました。

● 予算委員会

令和8年度勝山市一般会計補正予算（第2号）について審査を行い、可決することに決しました。

◆ 観光事務諸経費【1,000万円】（財源内訳 一般財源1,000万円）

原油・物価高騰に伴う光熱費等の高騰による温泉センター水芭蕉の入浴料の値上げに対し、利用する市民の負担軽減や施設利用促進のため、入浴料の助成を行います。また、あわせてマイナンバーカードの普及を図ります。

事業内容

対 象 者：13歳以上の勝山市民

助 成 額：右表参照

実施時期：令和8年7月18日から
（令和10年度まで）

対象者の確認：マイナンバーカードを
窓口で提示し、住所や
年齢の確認を受ける。

【助成額について】

（単位：円）

区 分	正規料金	助成額	窓口負担額
市民以外	1,000	—	1,000
市民（13～64歳）	800	150	650
市民（65歳以上）	800	※ 350	※ 450

※ 65歳以上の助成額には、勝山市高齢者等指定保養施設
利用助成（100円）も含む

委 員 マイナンバーカードの
提示に関して、様々なケースに
対応できるのか。忘れた時の対
応など、制度設計をもっと詰め
るべきではないか。

理事者 全市民が持てるマイナンバーカードを提示してい
ただくことで窓口業務の負担軽減を図り、普及にもつなげ
たい。事業を進めていく段階で、課題などあれば随時対応し
ていく。物価高騰や様々な情勢に対応しながら、市民負担の
軽減や休養と健康増進のため、今後も施設利用促進に努め
たい。

● 総務文教厚生委員会

行政視察報告

令和8年5月11日から13日にかけて、埼玉県
比企郡鳩山町、山梨県南都留郡富士河口湖町に
て行政視察を行いました。内容は以下のとおり
です。

鳩山町「健康づくりサポーター制度」

鳩山町では、健康づくりのために、地域の高
齢者が主体となってボランティア（健康づくり
サポーター）が町内の会場で「運動（体操）」を
行っています。この他にも「栄養（食べる）」、
「社会参加（生涯活躍）」の3本柱で取り組んで
おられました。

この結果、全国でも5番目に安い介護保険料
になり、今後の介護保険料を考える上で参考と
なる取組でした。

富士河口湖町「Jr（ジュニア）防災士」

富士河口湖町では、小学4～6年生を対象とし
たJr 防災士講座を、夏休みと冬休みに実施し
ています。この講座では、防災マップ、避難所
体験、防災リュック作成等の多種多様な内容を
実践的に学ぶことができます。

近年、災害に見舞われ、防災意識を向上させ
る必要がある本市にとって参考となる内容で
した。



審査の結果、議案3件について全て可決し、陳情2件を不採択としました。

◆ 友楽喜に関する2件の陳情（継続審査事件）について

理事者からは、陳情書の提出のあった3月定例会以降も、友楽喜利用団体の活動場所の確保や、より活動しやすい環境整備のための要望等の調整を実施し、理解と協力が得られ、既に多くの団体で活動場所の移動が完了し、残る1団体についても11月末までの移動の了承を得ている状況であるとの報告がありました。

委員からは、陳情者の思いを汲んで、市として十分な対応がなされているという意見がありました。陳情書に記載された内容には、友楽喜の存続や廃止手続の一時停止が盛り込まれていることから、採決の結果、不採択とすることに決しました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案2件について全て可決しました。

◆ ロータリー除雪車の購入について

現在使用しているロータリー除雪車が18年経つことから、入れ替えのために同規格の車両を新たに購入するものです。

委員会では、車両価格や入れ替え後の古い車両の取り扱いについて内容を確認し、採決の結果、全会一致で可決することに決しました。



● 新中学校建設特別委員会

◆ 陳情第4号 スクールバス停留所に関する陳情書（継続審査事件）

委員からは趣旨採択との意見も出ましたが、各地区区長会での説明で全体計画について概ね理解いただいたことや、運行開始後も必要に応じ毎年見直しを行うことが確認できたこともあり、採決の結果、不採択とすることに決しました。

一般質問 議・議員／理・理事者

- 森林整備について
- 学校における校外活動について

その他の質問

- ・115プロジェクトの市外へのPRIについて
- ・政党等機関紙の庁舎内勧誘行為について

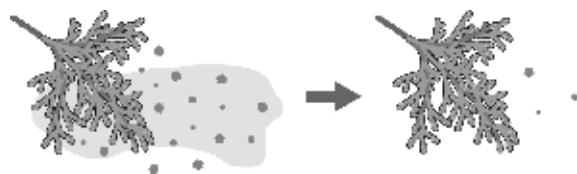


吉田将克 議員



議 政府は花粉症対策として、令和15年度までに、花粉発生源のスギ人工林の約2割の削減を目指している。スギ人工林の伐採や植替えは今後どのように実施していくのか市の方針を伺う。

理 森林の状況に応じて間伐等による伐採を継続的に実施している。また、植替えには、少花粉スギの苗木の導入を進め、花粉発生量の低減を図る方針である。市有林における近年の実績として、令和6年度は約2.39haに5,840本、令和7年度は約3haに4,600本の少花粉スギを植栽した。



議 同志社国際高等学校の平和学習を巡り、文部科学省が教育基本法に反するとしたことに対し、教育現場が萎縮するのではないかと懸念の声が聞かれる。当市の平和学習の基本的な在り方と文部科学省の判断が教育現場に与える影響について市の見解を伺う。

理 平和に関する学習は、命の尊さや人権の尊重、国際理解、平和な社会の実現について学び、公民としての必要な資質を育成するものであり、学習指導要領等を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じて、各教科をはじめ学校の教育活動を通して取り組んでいる。

校外における教育活動は、安全管理や危機管理に十分配慮して行われることは当然のことである。平和に関する学習についても、学習指導要領等の関係法令を踏まえ、適切に行われることが必要で、今後もこの原則に則って進めていくことから、市内小中学校の教育活動に特段の影響はないと考えている。

一般質問 議:議員/理:理事者

● がんに対する取り組みとがん検診の受診率を上げるための対策について

その他の質問

- ・部活遠征の安全について
- ・子どものスポーツについて



市議会 丸山忠男 議員



議 がんが原因で多くの方が亡くなっている現状について、NHKのドキュメンタリー番組クローズアップ現代で「がん患者になった医師の告白」と題して、がん検診の重要性を放映していた。

国は将来的には本人の同意を得ながらデジタル基盤を活用して組織型検診の仕組みを検討していくとしている。

勝山市は今後、がんに対してどのような体制で取り組み、がん検診の受診率を上げるためにはどうしたら良いのか、市長の見解を伺う。

理 現在、国の指針に基づき、肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診を実施しており、受診率は約20～25%未満となっている。集団検診と個別検診があり、受診しやすい環境づくりのため日曜検診も行っている。

受診率向上に向け、国民健康保険加入者の未受診への再勧奨通知やLINEによる集団検診予約を導入し、いつでも予約できる体制や受診時の待ち時間短縮等を図っている。

今年度からは、周知ポスターやチラシにQRコードを掲載し、スマートフォンでがん検診受診券の発行申請ができるようにした。また、職場等で受診機会がない方に向けて、市内企業や商工会議所等を通じて受診勧奨を実施する予定である。

なお、国では自治体の検診だけでなく職場や人間ドックの受診情報を一元的管理するシステムの構築を進めており、がん検診受診状況を正確に把握した受診勧奨や、予約・結果管理等のオンライン化による利便性向上が期待される。



勝山市がん検診案内



がん検診受診券交付

一般質問 議:議員/理:理事者

● 中高連携と総合的な学習の時間（探究学習）について ● 見守りGPS（位置情報タグ）の早期導入について

その他の質問

勝山市のイベントについて



森かよ子 議員



議 令和7年9月26日に勝山市教育委員会から県に「勝山高校の学科統合について（お願い）」が提出され「令和10年度から普通科と探究特進科を統合して1学科としていただきたい」とある。提出した意図とメリット、デメリットは何か。また連携生徒は何名で、その生徒は全て「簡便な入試」になるのか伺う。

理 勝山高校の近年の入学者は100人前後という状況にある。今後の少子化を踏まえ、探究に関する学科1学科に統合することで、学校規模の観点や中学校、高校ともに指導が効果的・効率的に行えること、3年間の取組による探究的な学びのカリキュラムの充実、普通科への波及による大学進学実績向上など、勝山高校のさらなる魅力化や中高双方の探究学習の充実につながると考えた。なお、想定されるデメリットはない。

連携生徒の人数枠については、県教育委員会が決定するため、現時点では未定。簡便な入試は連携生徒を対象とする。

議 子どもの安全を確保し、保護者や学校、地域が安心して子どもを見守るため、見守りGPS（位置情報タグ）は有効な



ツールの1つであると考え。見守りGPSを導入することで、子どもの現在地を把握し、登下校や放課後の移動が確認できるため、大きな役割を果たすと考え。導入できないか伺う。

理 本市の現状では、児童センター等を利用する児童は保護者等の迎えがあり、それ以外の児童は学年ごとにまとまって下校することで、一人きりの状況が少なくなるように努めている。見守りGPSの必要性は、他自治体の動向や多様な民間サービスの普及状況などを注視し、研究していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 敬老会事業の内容や今後のありかたについて
- 中学校再編に伴う子どもの心のケアと相談支援体制について

その他の質問

- ・ SNSを最大限活用した市のPRについて
- ・ ゆめおーれ勝山の多目的広場を駐車場に活用してはどうか
- ・ まちづくり会館の改修について




浦上雄次 議員

議 敬老会の参加率低下に伴い、今後勝山市型の「新しい敬老会」を考えていく必要がある。市としても各地区と連携して、改めて敬老会の内容を楽しい交流の場として改革すべきだと考えるが、見解を伺う。

理 敬老会の参加率は、半数の地区では増加傾向にあり、内容も運動やコミュニケーションができる参加型の企画を盛り込んだり、会の名称を変更したりするなど、高齢者が楽しめるよう各地区が工夫を凝らしている。市も、移動手段がない方のために、送迎用のバス代を各地区の委託料に上乗せしている。

地域の自主性を尊重しながら、好事例など情報共有に努め、より多くの方に参加いただける敬老会となるよう支援していく。

議 市内全ての中学生が再編によって集まることで、教員を入れて500人ほどの中学校になる。これは小規模校から進学する子ども達にとって大きな環境変化であり、不安やストレスを抱える子どもも少なくない考える。

スクールカウンセラーの相談状況について、どのような相談が多く寄せられているのか。また、いじめや不登校など重大事案について、どのような連携体制を構築し、相談体制を強化していけるのか、見解を伺う。

理 相談内容は、小中学校ともに「人間関係」の相談が最も多く、次いで小学校では「自分自身」、中学校では「不登校」や「学業・進路」の相談が多い状況である。

重大事案については、チームで対応するほか、必要に応じ市教育委員会や関係機関と共有し、いじめの解消に努めている。また、不登校については、スクールカウンセラー等の専門家と連携し一人ひとりの状況やニーズに応じた対応に努めている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- スクールバスの位置情報LINEシステム導入について
- イベント時の駐車対策としての自宅駐車場貸し出し予約システムについて

その他の質問

- ・ 子どもたちの悩み相談に対話型生成AIを活用することについて
- ・ 墓じまいの世帯向けの合葬式墓地設備について




市議会 下道恵子 議員

議 スクールバス運行中、冬季は雪の状況で時間通りにバス停に着けない日も想定される。そんな時のためにバスの位置情報をリアルタイムで保護者のスマートフォンに通知してくれたり、ドライバーの運転状況をチェックする危険防止機能がついているシステムを導入しないか市の考えを伺う。

理 位置情報システムの導入は教育委員会でも検討したが、スクールバスを運行している県内他市町ではほとんど利用されていなかった。危険運転等による事故防止については、システムに頼るのではなく、日々の運行マニュアルの順守や指導など運用面で適宜対応する。まずは安全管理を徹底した上で運行を開始し、システムの必要性が確認できれば、改めて対応を検討していく。

議 毎年、年の市や左義長まつりでの駐車に苦勞する話を聞く。そこで、一時的に会場の近隣の方の自宅の駐車場を借りる民間の駐車場予約システムを市でも駐車場対策として利用しないかを伺う。

理 「自宅駐車場貸し出し予約システム」は、個人宅や事業所などの空いている駐車場をインターネットで予約し、一時的に貸し借りできるサービスで、来訪者の利便性向上や駐車場不足の緩和に一定の効果が期待できるが、駐車場不足は年間数日であること、多くの協力がなければ渋滞削減効果が出ないことなど、クリアすべき課題が想定される。

自治体が主体となって導入・運用を行う場合、リスク管理や苦情対応、投入する労力に対する費用対効果など検証も必要だが、市民が観光の経済効果を直接享受できる方法の1つとして期待できるため研究する。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 部活動の地域展開について
- 今後の観光戦略について



市政会 石垣智史 議員



議 部活動の地域展開を見据え、指導者不足や地域格差、相談体制、保護者の送迎・費用負担、学校と地域の連携など、持続可能な運営に向けた課題と今後の方針を伺う。

理 指導者の確保については、経験者はもとより、社会人や大学生、退職者など幅広い人材に参画いただけるよう、認定地域クラブと連携して担い手育成に取り組む。

相談体制については、相談窓口や責任者を明確にし、必要に応じて教育委員会も対応する。

保護者負担については、低廉な会費設定や財政支援を予定しており、経済的な事情で参加が困難な生徒には、公費による参加費支援を行う。

学校と認定地域クラブとの間で情報共有等を綿密に行い、地域全体で生徒の成長を保障していきたい。

議 観光客数だけでなく観光消費額を高める視点から、経済波及効果、パーク＆ライド、夜間交通、平日誘客、市民利用との両立を含めた今後の観光戦略について伺う。

理 観光地として選ばれるまちを目指す上で、観光客の満足度向上と市民生活の質の向上を両立させることが最も重要。観光客の増加で交通渋滞や駐車場不足など市民生活への影響が生じることもあるが、観光消費の拡大は地域経済の活性化や雇用の創出につながり、市民生活を支える大きな力となる。

今後も観光客向けの宿泊施設等の誘致に加え、市民も気軽に利用できる飲食店やカフェの誘致、2次交通の充実など観光と暮らしの双方に効果のある施策を進めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 福井県立大学恐竜学部生との交流について
- 防災行政無線の運用について

その他の質問

- ・ 戸籍の広域交付制度と観光PRについて
- ・ えちぜん鉄道の利用について



市政会 帰山寿憲 議員



議 勝山市民との交流推進も含めて、恐竜学部大学祭に支援をするべきでないか。

理 本年4月に福井県立大学の恐竜学部棟である勝山キャンパスが開設し、2回生34名が日々学業に励んでいる。

恐竜学部では11月に初の学部祭である「第1回恐竜祭」の開催を計画している。学部祭は、新キャンパスのお披露目とともに、地域との連携を深めることが目的。日本で唯一の恐竜学部ならではの特色として、教授陣による体験授業や学部生達によるキャンパスツアーなど、勝山市民に足を運んでいただけるよう準備が進められている。

市としても最大50万円の助成を受けられる「わくわくクラウドファンディング応援事業補助金」の活用を学部生に提案している。その他、市職員の「県立大学恐竜学部生くらしサポートチーム」による人的協力や広報紙・公式SNS等によるPRなど、学部生達の活動をサポートしていく。



福井県立大学恐竜学部棟

議 防災行政無線は、隣接地区の放送が重なり聞き取りにくいことがある。時差放送の導入により解消できるのではないか。

理 本市の防災行政無線の時差放送は、最大6回の分割が可能である。この機能の運用にあたり、どの屋外拡声子局を遅らせるか等の検証が必要だが、活用に向けて取り組んでいく。

また、昨年度から防災行政無線の更新を実施しており、屋外拡声子局が更新されれば、聞き取りやすさが改善される予定である。

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちづくりについて
- 教育会館と中央公園改修による「多世代交流拠点づくり」について

その他の質問

・「滞在型観光」への戦略について



松山信裕 議員

議 第6次勝山市総合計画の改定と、第3期勝山市地方創生総合戦略の策定はどのように考えているのか。

理 10年後のまちの将来像を定めた第6次勝山市総合計画の基本構想や政策目標は、策定から5年が経過した現在も本市の政策や予算の基本となっていて、改定の予定はない。

一方、現在の第2期勝山市地方創生総合戦略は本年度が最終年度のため、近年の社会経済状況の変化に対応した第3期総合戦略を策定する。

議 今回の改修では、公園再配置や新施設整備に伴う既存樹木の保存本数、伐採予定をどのように考えているのか。また、教育会館庭園は、多田清氏の寄附をもとに、著名な庭園作家である中根金作氏が作庭したものである。この庭園を残すことはできないのか。

理 中央公園の塀や樹木を撤去し、開放的な空間とする方針を示していたが、樹木を残してほしいとの意見を受けて再検討し、6月4日開催のワークショップでは市民の思い出の樹木等6本と桜並木を残す案を説明し、意見を伺った。その結果、開放感や倒木リスクを理由に伐採を求める声が多く、基本方針どおりとしつつも、樹木の健全性等を考慮して群での保存も検討する。

教育会館庭園は、中根金作氏が作庭した歴史・文化的価値が高いものだが、池の機能消失や植栽の傷みが課題となっている。よって、人工芝を敷設した多世代交流空間への転換を考えているが、

賛否の意見を踏まえ、詳細設計で慎重に検討する。



教育会館庭園

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちなかの緑について—街路樹の剪定と環境整備—
- 農業の担い手について

その他の質問

・医療・介護の人材確保について
・自伐型林業者への支援の見直しについて
・中央公園の樹木伐採について



李江嵐 議員

議 「大地の再生」の矢野智徳氏や、「土中環境」で知られる高田宏臣氏は、樹木の衰退・倒木の根本原因を土中環境の悪化と捉え、土中の水と空気の流れを回復させる「通気浸透水脈」の手法を実践し、普及に取り組んでいる。土中環境から街の環境を守り育てるという視点を取り入れた管理・整備の在り方を、市として今後検討していただけないか。

理 国は令和8年3月に「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）」を改訂し、全国で発生している都市公園等の倒木事故を踏まえた点検内容や事例などを示している。市ではこの指針を参考にしながら、日常点検や街路樹剪定の機会を活用して、街路樹の健全度の確認に努める。土中環境については、今後新たに植樹を行う際に考慮したい。

議 農業の担い手不足は全国的に深刻な課題である。農林水産省のデータによれば、基幹的農業従事者の平均年齢は年々上昇し、高齢化と後継者不足が加速している。担い手不足の深刻化を肌で感じている。農業分野への地域おこし協力隊の活用について、市として取組を伺う。

理 地域農業を牽引する認定農業者連絡協議会等に、地域おこし協力隊の受入れについて提案・意見交換を行った際、単一の営農組織で隊員受入れ・育成は負担が大きい、営農組織が複数連携して支援することで可能ではないかとの意見があった。現場の声を踏まえ、市では農業分野における地域おこし協力隊の活用を新たな担い手確保の手段の1つとして位置づけ、現在、募集に向けた準備を進めている。

● ハラスメント防止対策と第三者相談窓口の設置とコンプライアンス推進の提案について



富士根信子議員

議 前知事のハラスメント問題が公になってから現在まで、勝山市はどのような取組を行ったのか。勝山市も開かれた行政・市民のための行政を市長のもとで一丸となって取り組んでおり、ハラスメント防止のために対策を検討し、第三者相談窓口の設置や市役所職員を対象としたアンケートの実施を行うことで、公正で信頼できる結果が得られると考える。胸を張って、勝山市は信頼でき安心・安全で透明性のある自治体であると証明されたいと考える。調査、結果報告の実施について伺う。

理 本市では、職員が互いの人権を尊重し、良好な勤務環境を確立するため「勝山市職員ハラスメント防止要領」を制定し、対策している。また昨年度からは、全ての常勤職員を対象に、公認心理士等によるオンラインカウンセリングを受けられる体制を整備しており、新たに第三者相談窓口を設置する予定はない。

コンプライアンスの推進については、法令等の遵守、服務規律の確保の徹底のほか、定期的にハラスメント研修を実施し、職員の意識の向上に努めている。

前知事の事案公表の後、全職員にハラスメント防止対策の周知、啓発、相談窓口の案内について改めて周知した。また職員一人ひとりに対し、所属長による面談を定期的に複数回実施しており、ハラスメントに限定せず職員の勤務状況や職場の状況を含めた幅広いヒアリングを行っているが、現時点では、ハラスメントの事案は確認されていない。

● 勝山市の給付型奨学金について
● 中東情勢を踏まえた支援策について

その他の質問

- ・ 新たな防災気象情報の活用について
- ・ 「こどもの声」をまちづくりの力に生かすについて



公明党 安岡孝一議員

議 日本学生支援機構が運営する貸与型の奨学金について、日銀が令和6年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利を解除し金融政策の正常化へと踏み出したことを背景に長期金利が上昇して、奨学金の返済利率が上昇している。そのような中、勝山市では奨学金の一部を助成する、給付型奨学金を令和9年度より開始するが、この給付型奨学金制度の趣旨、内容を伺う。

理 本市では子ども達の進学を力強く後押しするため、返還不要の給付型奨学金「115（いいこ）奨学金」を新たに創設し、令和9年度からの給付に向け、今年8月から募集を開始する。

制度の内容は、入学時給付金15万円、在学中給付金が年額25万円（4年間で総額115万円）。

支給対象者の主な要件は、大学、短期大学、高等専門学校4年次以上、または専修学校専門課程の全日制課程に進学する学生で、入学年度4月1日において満21歳以下であること、入学年度の4月1日から起算して1年以上前から勝山市内に住民票があり、生活の本拠があること等を定めている。



議 中東情勢に伴う原油価格の高騰や資材不足の影響が長期化している。国は3兆円規模の補正予算を編成した。勝山市においても、生活者支援や地域経済を支える支援策の実施をお願いしたいが所見を伺う。

理 商工会議所や金融機関などとの意見交換を通じ、市内事業者の実情把握に努めるとともに、国の重点支援地方交付金をはじめとする財政支援や、県の支援制度の動向を注視し、事業者への確実な情報提供、伴走支援を徹底していきたい。

● 障がい者の就労選択支援について



下牧 一郎 議員

議 令和7年10月開始の「就労選択支援」は、障がい者が主体的に働き方や福祉サービスを選ぶようサポートする新制度である。国は、従来の雇用のミスマッチや事業所による囲い込みなどの課題を打破し、雇用の質の向上、客観的アセスメントによる選択環境の整備、福祉と雇用の分断解消を目指している。

そこで、当事者や家族への確実な周知・案内方法と、アセスメントを担う指定事業所の体制整備及び市の関わり方について伺う。

また、関係機関との連携による共通言語作りと就労目標の上方修正、さらに引きこもりがちな障がい者へのIT技術を活用した在宅就労支援方針について伺う。

理 制度の周知・案内は、福祉健康センターすこやか内の障害者生活支援センターや市社会福祉協議会、サービス等利用計画の定期的な見直し（モニタリング）を通じて行っている。

アセスメントを実施する指定事業所については、市内に事業所のある社会福祉法人九頭竜厚生事業団が指定申請を予定しており、今後体制が整っていく見込み。市としては関係機関と連携して体制整備の支援を積極的に行う。

また、市は就労支援において福祉と労働、企業をつなぐパイプ役を担っており、新制度を踏まえた効果や地域の実情を踏まえた目標設定を行っていく。

引きこもりがちな方への支援は、就労の前段階として、社会とのつながりを少しずつ取り戻すことが重要。オンラインツール等を活用した遠隔での緩やかな社会参加の機会を設け、段階的に就労へつながっていくよう、関係機関と連携して支援に努めていく。

- 法定外公共物に関する、不適切な勝山市の対応について
- 上水道30%値上げ、下水道14%値上げという答申について



日本共産党 山田 安信 議員

議 温泉センターを違法に法定外公共物上に建設している。地権者等からは、「道路のない農地になる」等と指摘されているはずだが、敷地内の通行を認めることが機能移転の措置として認められるのか。いつまでに対策を示すのか。

理 敷地内の赤道（あかみち）は、平成元年当時の開発行為において、区長、農家組合長の同意を得た上で機能移転が完了しており、改めて機能移転の必要はないと捉えている。よって、敷地内の通行を認めることが機能移転の措置とは考えていない。

公道に接していない農地については、将来的にも通行が可能となる手続きを現在進めており、方向性がまとまり次第速やかにお示しする。

議 3月議会でも市独自の支出増と収入減の特別原因を指摘した。浄土寺川ダムの給水人口は何人か。負担金を払い、全く取水していないが、これも水道会計を圧迫する原因の一つだと認めるか。

また、浄土寺川ダム取水権を利用してくらがり谷水系で必要最小限の整備をすると聞いたがこれは間違いか。

理 給水人口は1日あたり約4,500人相当分。市の水源の約80%が地下水であることから、地下水位の影響を受けない水源の一つとして浄土寺川ダムの取水量を確保している。また、くらがり谷水系は法恩寺リゾートエリアへ給水するための事業（※）で、ダム取水権とは別に水利権を取得し整備したものである。

※令和8年3月議会の一般質問答弁では、「くらがり谷水源はリゾートエリアと市街地に給水するための水源として許可を得た」との説明でしたが、正しくは「リゾートエリアに給水するための水源」であったとして、今回の答弁の中で理事者から訂正とお詫びがありました。



今日からできる詐欺対策

スマートフォンの普及とともに、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺、その他の詐欺の認知件数及び被害額は極めて深刻な状況が続いており、その手口はますます巧妙になっています。「自分は騙されない」と思っている、突然の怪しい電話やSMS（ショートメッセージ）に焦ってしまう人は少なくありません。そこで心強い味方になるのが、自動で不審な着信をブロック・警告してくれる「詐欺対策アプリ」です。このアプリは警察庁が推奨しているアプリで、ダウンロード、利用料は無料です。

以下の4つの機能を有しています。

- 1 国際電話番号の発着信一括ブロック・警告 (Androidのみ)
- 2 特殊詐欺等の犯行に利用された番号（国際電話番号を含む）の発着信ブロック・警告
- 3 警察庁から特殊詐欺に関する防犯情報のお知らせ
- 4 民間事業者の最新技術等を活用

ご自身はもちろん、離れて暮らす大切なご家族のスマートフォンにも、是非これらのアプリをダウンロードしてみたいでしょうか。

(吉田 将克 記)



NTTタウンページ



TREND



議会日誌

5月11～13日 総務文教厚生委員会行政視察	17日 総務文教厚生委員会
14日 勝山市遺族連合会評議員総会	18日 建設産業委員会
15日 市民体育大会総合開会式	19日 予算委員会、議会広報特別委員会
19日 国道157号整備促進期成同盟会定例総会	20日 村岡町敬老会、福井県消防操法大会激励会、勝山市防犯隊総会
21日 全員協議会、新中学校建設特別委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会	22日 新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
22日 勝山市区長連合会総会	23日 勝山市シルバー人材センター総会、暴力追放勝山市民会議理事会
25日 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会総会・提言活動（東京都）、勝山交通安全協会定期総会	25日 総務文教厚生委員会、全員協議会、本会議
26日 福井県都市計画審議会（福井市）、勝山市水防協議会	27日 かつやま恐竜スクール結成式、野向町敬老会
27日 全国市議会議長会定期総会（東京都）、勝山商工会議所通常議員総会	28日 猪野瀬地区敬老会
29日 勝山市民生委員児童委員協議会総会	29日 鯖江市議会行政視察受入
31日 勝山市水防訓練、福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会（小浜市）	7月 4日 社会を明るくする運動街頭広報・啓発活動
6月 1日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会臨時会、ビュークリーンおくえつ視察	6日 議会広報特別委員会
7日 荒土町敬老会、北郷町敬老会、平泉寺町敬老会	7日 勝山市交通対策協議会
8日 議会運営委員会、本会議、全員協議会	8日 主要地方道篠尾勝山線改良促進期成同盟会総会
13日 かつやまマラソン大使との懇親会	10日 福井県立恐竜博物館特別展開会式
14日 勝山恐竜クロカンマラソン	11日 勝山市戦没者追悼式、「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ in 恐竜勝山」前夜祭
15日 本会議（一般質問）、議会運営委員会	13日 福井県消防操法大会激励、交通安全県民運動街頭啓発、議会広報特別委員会
16日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	15日 岩手県久慈市議会行政視察受入
	18日 福井県消防操法大会（福井市）

編集後記

今定例会本会議では13人が一般質問を行い、各議員が様々な角度から政策提案や課題解決に向けて意欲的に質問しました。「市民の立場に立ち、市民の声を第一優先に」これをモットーとして、市の発展に向けて市議会一同今後とも尽力してまいります。

(浦上 雄次 記)

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠男 副委員長 吉田 将克 浦上 雄次 森 かよ子 富士根信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 〈URLアドレス〉 <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉 gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画